

大激戦の中、前回票上回り橋爪再選

公約実現へさっそく始動

注目の上越市議選は4月27日、投票開票されました。今回の選挙は14市町村が合併して初の市議増員選挙に続いて2度目の選挙となりました。物価の高騰、各種公共料金の値上げなどで市民の暮らしが大変な中で行われた今回の選挙では、合併後のまちづくりや市民の暮らしをどう守るかが問われました。



	今回の得票	今回の得票率	前回の得票	前回の得票率
野呂和男 (新)	1598	45.7%		
橋爪法一 (現)	1898	54.3%	1783	49.8%

日本共産党は名立区を除く3選挙区に4候補をたてて、たたかいました。その結果、定数1の吉川区で議席を守り、定数2の頸城区でトップ当選、旧上越市区(定数30)でも2人の候補者が高位当選しました。

私は、3年あまりの市議としての活動と成果及び3つの重点公約(①高齢者が安心して老後を送れる政治の確立、②将来の担い手である若者の暮らしの応援、③国の悪政を正し、市民の暮らしと地域を守る)を中心に訴えさせていたことができました。

このうち、後期高齢者医療制度の廃止、農政の根本的な転換など国の悪政を正すことについては国の課題ではありますが、市民の暮らしや経営に直接かかわるだけに強い関心が寄せられました。いずれの課題も市政の課題と結びつけながら市議としての活動のなかで頑張っていく決意です。

今回の選挙で相手陣営は自民党の県議や無競争となった区選出の市議、地元建設業者などの応援を受けて、議席を奪還しようとする総力戦を展開しました。それだけに厳しいたたかいとなりました。

今回の選挙結果について、日本共産党の市田書記

局長は28日、国会内で記者会見し、「上越市議選では、国の悪政に堂々ものを言える政党・候補者でなければ、市民の暮らしも地域経済も守ることはできないことに共感が広がった」とのべました。全国的に波紋を呼びそうです。

党議員団の代表に就任



選挙後、私は、新たな日本共産党議員団(4名)の団長に就任しました。初任事はメーデー上越集会での挨拶でした。(公職選挙法上の制約があり、このレポートではお礼の挨拶ができません。ご理解を)

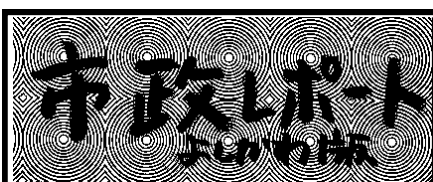


エチゴリソウがいま見頃です

橋爪市議を囲む会のご案内

橋爪法一後援会では、恒例となりました、焼肉と山菜料理を食べながらの『橋爪市議を囲む会』を今年も計画しました。議会報告は約15分、その後は飲んで、語って楽しめます。ぜひお出かけください。

5月5日(月、休日)午後6時から8時まで、代石の橋爪牛舎付近の広場にて。参加費は1000円(山菜料理持ち込み者及び子どもは無料)です。お酒などの持ち込みもオーケーです。ただし、お酒を飲まれる方は、車に乗っての参加はご遠慮ください。事前申し込みは不要です。



NO 1344
2008.5.3

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/